

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年								
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 ~3日	12月 ~10日	12月 ~17日	12月 ~24日
カンピロバクター	99	99	47	48	99	77	32	30	46	63	57	67	75	49	29	47	43	14	13	11 (1)	16
病原性大腸菌	90	30	53	40	44	45	81	37	55	103	120	108	102	56	52	49	80	25	25	21 (2)	20
腸管出血性大腸菌	1	10	2	0	2	0	0	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	16	12	12	14	5	3	2	2	7	7	13	25	6	12	15	6	3	1	3	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	22	26	19	13	20	18	11	10	13	14	21	8	12	15	18	21	18	2	6	5	0
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	17	18	15	16	20	14	10	14	15	14	10	11	11	9	5	9	4	4	3	1
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	4	1	5	4	1	2	1	2	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	5	7	3	2	2	6	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	1	0	0	0	1	2	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第51週(12月18日~12月24日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7					4		3
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2					2		
四類	3	E型肝炎	1							1
		レジオネラ症	2	1				1		
五類	10	ウイルス性肝炎	1							1
		後天性免疫不全症候群	1							1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	2					1		1
		バンコマイシン耐性腸内細菌感染症	1	1						
		梅毒	4			1				3

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり22.89人と、前週と比べて減少し、警報レベル(定点当たり30)を下回りましたが、依然として多い状況です。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

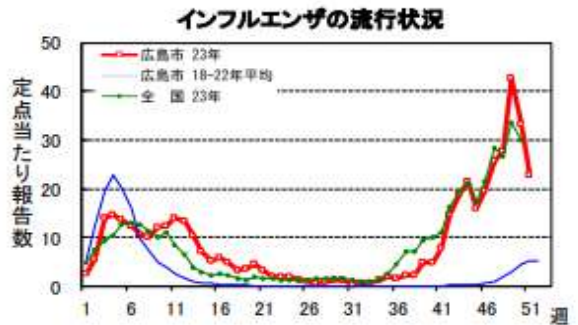
定点当たり4.35人の報告があり、多い状況が続いています。感染予防には、患者との濃厚な接触を避けることや、手洗いなどが有効です。

3 流行性角結膜炎

定点当たり2.00人の報告があり、増加傾向です。流行性角結膜炎は、アデノウイルスを原因とする急性の結膜炎です。感染力が強く、小児から大人まで幅広い年齢層で見られます。手洗いの励行、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり2.81人の報告があり、増加傾向が続いています。全国も第50週の時点で増加傾向で推移しており、注意が必要です。引き続き、基本的な感染対策を徹底しましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	824	22.89	5.08	◇	小児科	ヘルパンギーナ	5	0.22	0.22	
	新型コロナ(COVID-19)	101	2.81		◇		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.07	
小児科	RSウイルス感染症	1	0.04	0.21		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	136	5.91	0.31	→		流行性角結膜炎	16	2.00	0.45	→
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	100	4.35	1.51	→	基幹	細菌性髄膜炎	1	0.14	-	
	感染性胃腸炎	185	8.04	7.76	◇		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	1	0.04	0.29			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06	
	手足口病	18	0.78	0.86	◇		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.19			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03	
	突発性発しん	4	0.17	0.22							

急増減 ↑ (赤) ↓ (青) 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 → (黄) ← (青) 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ⇄ (白) 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇄ (白) ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	126	10歳未満・1人、30歳代・1人、80歳代・2人
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	16	10歳未満・O157、40歳代・O157
4	レジオネラ症	1	32	70歳代
5	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	4	70歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	17	10歳未満